

## 【オリジナルティーチングプラン】

# 思考力・判断力・表現力を育むタブレット端末の活用

守谷市立御所ヶ丘小学校

## 1 はじめに

タブレット端末を活用した学習は、児童同士のコミュニケーションを活性化させる。タブレット端末の活用で、児童が主体的に自分の考えたことを図や写真を使いながら言葉で説明できるようになる。活動を通して児童の思考力・判断力・表現力が育まれると考え、本テーマを設定した。

## 2 授業の実際

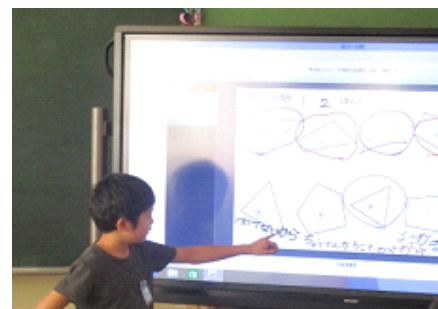
### (1) 思考力を育てる

タブレット端末の特長は直感的操作性にある。児童が感じたことや考えたことを機を逃さず記録することができる。右の写真は体育のマット運動におけるタブレットの活用である。タブレットを使って自分の技を視覚的に確認できたので、自分の技の良い点・改善点に気付いて練習に生かすことができた。タブレットを確認しながら友達同士でアドバイスを出し合うことができ、技を高める上で効果があった。



### (2) 判断力を育てる

児童の判断力を育むためには、比較・検討の場面が欠かせない。右の写真では、児童が自分の考えを説明する場面である。これにより、学びが共有化され、友達のどのような意見がよいか判断する力が育った。児童は他の児童の考え方をすることで、有効な情報を自分の考えに役立てることができ、判断力が育った。



### (3) 表現力を育てる

発表し合う言語活動はタブレット端末が最も得意とする分野である。右の写真は生活科の授業の様子である。まちたんで児童が撮った写真を、再構成し自分の考えを説明する順番に並べている。写真がどのようなものであるかを相手を確認しながら説明することで低学年から表現力の育成ができるようになった。



## 3 考察と課題

児童の思考力・判断力・表現力を育成するためにタブレット端末を活用したことで、児童同士の学びの共有化が進んだことが大きな成果である。お互いの考えを伝え合う手立てとしてタブレット端末の活用は有効であった。

課題としては、活用できるアプリの導入を行っていくことである。アプリの導入により図工や音楽等の技能教科でも直感的操作を生かした活用ができると考える。